

2021 年度（令和 3 年度）事業計画書

＜事業計画策定の前提＞

2021 年度の事業計画書および予算計画は、昨年初頭より発生した新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響により政府および自治体から発出された通達等に従うと共に、感染対策に充分配慮した事業を行うべき期間が一年を通じて継続することを前提として策定します。

また、各事業は今後の感染状況に応じて実施を中止することがあります。

＜基本方針＞

1. 博物館展示の質向上
2. 講習会、イベント、セミナー等の充実
3. 賛助会員、友の会会員の新規募集（拡充・継続）
4. 人材育成事業（奨学・育英及び研究助成）

公 1 木材や合板等に関する資料等の収集及び展示・公開

(ア) 書籍、雑誌等の収集分類

(イ) 常設展示の見直し

- ・木質材料コーナー、木造住宅コーナー等の配置・展示内容の見直し
- ・音声ガイド（QR コード読取り）導入
- ・ギャラリーでの企画展示
- ・HP において、3D ビュー+VR 映像で館内を巡れる「ヴァーチャル博物館」を公開

公 2 木材や合板等の有効利用及び需要拡大等に資する情報の普及活動、及び自然環境教育事業

(ア) 季刊誌「PLY（ぷらい）」の編集発行（年 4 回）

博物館の広報・PR 活動

- ・HP、雑誌等による情報の発信
- ・展示会等への出展

(イ) 第 13 回「木と合板」写真コンテスト 実施

(ウ) 第 8 回「合板の日」記念式典（11 月開催予定）

- ・日本合板工業組合連合会、日本合板商業組合との共同開催

(エ) 団体見学の受入れ

- ・都内小学校の社会科見学
- ・大学研究室、賛助会員企業等

(オ) ワークショップ

- ・いつでも工作体験
- ・土日、夏休み開催の工作教室
- ・Web 工作教室

(カ) セミナーの開催

- ・木の文化に関するセミナー（仏像・楽器など）
- ・自然に関するセミナー（生態系の重要性とその保護など）
- ・災害と防災に関するセミナー（防災・耐震加工木材など）

公3 奨学・育英及び助成事業（給付型）

(ア) 奨学・育英事業

- ① 対象： 江東区内の高校生で、在学中に経済環境が悪化した者
- ② 選考方法： 学校長の推薦を受け選考委員会にて選定し、理事会にて最終決定
- ③ 募集人数： 5人
- ④ 給付額： 月額 30,000円／人

(イ) 研究助成事業

- ① 対象： 35歳以下の大学院に在籍する学生。また、申請者は日本木材学会、日本木材加工技術協会、日本木材保存協会、木質構造研究会など木材関連の学協会の学生会員または正会員であること。
- ② 選考方法： 応募者の中から選考委員会にて選定し、理事会にて最終決定
- ③ 募集人数： 3人
- ④ 給付額： 500,000円／人

収1 収益事業

(ア) ウッドマスター講習会（2021年度より一部を除き Web 講座に変更）

- ① 基礎講座（Web 講座）
年間3回開催
- ② 中級講座
 - ・合板関連中級講座（Web 講座）
ジャパン建材中堅社員及び外部を対象とした合板プロへ向けたレベルアップ研修
 - ・木材関連中級講座
専門的内容に特化した講座開催（樹種識別）

収2 物品販売

- (ア) ミュージアムショップの商品拡充
- (イ) 自販機による飲料販売

以上